KITHIT
Sound of Science

キットヒット・バーチャルサラウンド技術

2025.01

ハイエンド音響機器対応の ステレオバーチャルサラウンド

キットヒットのバーチャルサラウンド技術について

キットヒットのバーチャルサラウンド技術は、２個のスピーカのみで、複数のスピーカーが聴き手を取り囲むように配置し、前からも後ろからも音に囲まれるような音場を作り出す技術です。

それは、センタースピーカー、サラウンドスピーカーが仮想音源（聴覚の錯覚を利用してスピーカーのないところから聞こえるようにする）を使う方法で、後方にスピーカーがないため、移動する音の再現などは難しくなりますが、スピーカーを意識しない自然なサラウンド感が得られます。そして、バーチャルサラウンドでは、聴覚の錯覚を利用する方法なので、スピーカーと視聴者の位置関係が重要になり、サラウンドを効果的に試聴できるエリアは、リアルサラウンドより狭くなりますが、キットヒット・バーチャルサラウンド技術では、広範囲にて効果を得る事ができる画期的な技術です。

もちろん、ヘッドフォンでの視聴にも対応しており、より立体的で臨場感あふれる音場を楽しむ事が可能です。

スピーカーと耳の距離、両耳に到達する距離（時間）が等距離である位置、左右のスピーカーの中心軸上で聴くと効果的なサラウンドを得られますが、キットヒットでは、バーチャルサラウンドでは初めて擬似反射音の時間差を利用した方式により、場所を選ばずに、より自然なサラウンドを実現しました。

キットヒット・バーチャルサラウンドの特徴

【広範囲な場所でのサラウンド効果】

2つのスピーカーの中心で聴くと良いというのは、音楽のステレオ再生と同じです。とは言え、中心からずれた位置でも音楽が楽しめるように、キットヒットでは、時間差技術を利用して、いかにも、聴き手を取り囲むように スピーカーを配置した様な臨場感あふれるバーチャルサラウンド効果を広範囲で楽しむ事ができます。通常の２個のスピーカーで聞くのとは全く異なる迫力で楽しめますので、CDやBD、DVDによる映画だけでなく、地上波デジタル放送による音楽もサラウンド効果が対応できます。

キットヒット スーパーツイーターを組み合わせた
バーチャルサラウンド視聴の様子

【時間差バーチャルサラウンド】

音は、鼓膜に到達するまでに、肩や頭、外耳に衝突しており、動物は衝突による音の変化を認識することで、音が聞こえる方向を把握しています。

この、音が衝突する際に現れる影響は頭部伝達関数(HRTF)と呼ばれており、キットヒット・バーチャルサラウンド技術は、HRTFの影響が加わった音を複数の反射時間差を含めてソフトウェア処理することにより、2つのスピーカーでも広範囲で音の方向を感じられるサウンド環境を実現しています。

キットヒット・バーチャルサラウンドは、ホール、ライブ、ヘッドフォンの３種類のモードで、自然で臨場感あふれ、リアルなサラウンドを楽しむ事ができます。

ぜひ、この技術を体感して頂ければ幸いです。

ハイエンドオーディオでの視聴

Sound of Science

キットヒット工房付近の海

--- お問い合わせ --- お問い合わせはメールにてお願い申し上げます。

株式会社キットヒット
〒811-3311
福岡県福津市宮司浜1-10-11-101　Mail：information@kithit.com
TEL/FAX：0940-62-6552　URL：https://www.kithit.com

KITHIT
Sound of Science